

1. 将来の姿が実現した場合の私たちの暮らし

□ おきなわ鉄軌道ニュース(第3号)で示した「沖縄本島の将来の姿」(左下図)について、観光や経済の振興、交通弱者等の移動手段の確保等を期待する多くの声が寄せられました。しかし、一部の方から、私たちの日常がどう変わるか具体的なイメージが分からない、という声もありました。

□ そのため、沖縄の将来の姿を、沖縄21世紀ビジョンで示されている県民が望む5つの将来像から、将来の姿が実現した場合の私たちの暮らしを取りまく環境(社会環境)をイメージした上で、私たちの暮らしをイメージしてみました。**みなさんは、どんな暮らしをイメージしますか?**
□ 4~5ページでは、ここでイメージした将来の姿の実現に向けた対策案について検討を行います。

沖縄21世紀ビジョン(H22.3策定)において 県民が望む5つの将来像

将来像Ⅰ

沖縄らしい自然と歴史、
伝統、文化を大切に作る島



将来像Ⅱ

心豊かで、安全・安心に
暮らせる島



将来像Ⅲ

希望と活力にあふれる
豊かな島



将来像Ⅳ

世界に開かれた
交流と共生の島



将来像Ⅴ

多様な能力を発揮し、
未来を拓く島



沖縄県総合交通体系基本計画(H24.6策定)で 示されている沖縄本島の将来の姿

沖縄21世紀ビジョン基本計画(H24.5策定)で示された交通分野に関する基本政策の具体的な構想を示す「沖縄県総合交通体系基本計画」では、那覇と北部圏域の中心都市である名護との移動時間を1時間とする圏域構造の構築、「沖縄本島の将来の姿」が位置づけられています。

那覇と名護との移動時間を 1時間とする圏域構造の構築



おきなわ鉄軌道ニュース(第3号)P4「沖縄本島の将来の姿」

将来の姿が実現した場合の 私たちの社会環境(イメージ)

自然

沖縄の豊かな自然環境を保全しながら、適正な利用が図られている



生活

地域の拠点を中心としたコンパクトな都市構造が形成され、歩いて暮らせる環境や渋滞緩和が実現している



産業

住み慣れた地域で県民誰もが、保健、医療、福祉の適切なサービスが受けられる



産業

情報通信産業が高度化し、知的・産業クラスターが形成され、環境など沖縄のソフトパワーを活かし新たな産業が創出されている



観光・交流

国際物流ハブ機能を活用し農林水産物など県産品の輸出が拡大している



観光・交流

県内の各圏域間の交流・移動が拡大している



文化・研究等をとおり多様な国際交流が行われている



観光客の多様なニーズに応える観光拠点が多数あり、旅行環境が整備されている



教育

公平な教育機会が享受され、多様な人材が育成されている



将来の姿が実現した場合の私たちの暮らし(イメージ)

大切なものは残しつつ、多くの県民が、多様な
ライフスタイルを選択できる姿を目指しています。



将来の姿が実現した場合、あなたはどんな暮らしをイメージしますか?
※8ページのアンケート問2でお答え下さい。